

憲法施行 73 年・千葉市空襲 75 年 戦争を繰り返さないための集い」  
千葉・平和のための戦争展「ピースフェア 2020 in 千葉」

「若者たちが語る戦後 75 年 ～若者から戦争体験者への手紙 1945←2020～」  
オンライン・シンポジウムに参加しませんか？

戦争を知っている人びとがごくわずかになりました。

戦争を知らない世代は、どんなふうにもその記憶を受け継ぐことができるのでしょうか。

戦争体験者に手紙を書いた若者たちが、戦後 75 年のいま、考えていることを語ります。

\*\*\*\*\*

●日時：2020 年 6 月 20 日（土）13：30～15：30

●オンライン「Zoom」を使用。

●参加方法：事前申込みが必要です。①名前、②年齢、③所属（職業・学生など）、④連絡先（メールアドレス）を明記のうえ、[wakamonotegami@gmail.com](mailto:wakamonotegami@gmail.com) へお申込みください（参加費無料）。  
申込み締め切りは、6 月 15 日（月）です。参加者の方々へは事前にメールで Zoom の専用 URL をお送りします。

●プログラム

第 1 部 若者から戦争体験者へ手紙を書く 1945←2020 （40 分）

（登壇者 4 人の若者、落合・室田）

戦争体験者のポートレートと証言に、参加者全員で向き合ってみます。若者たちが戦争体験者にあてた手紙も紹介。戦争の記憶をどう受け継いでいけばいいかを考えます。

第 2 部 若者たちが戦後 75 年を語る（80 分）

（登壇者 4 人の若者、北川）

- ・「戦争」といったときに、どんなことを思い浮かべる？
- ・「コロナの時代」に考える、「平和」ってなんだろう？
- ・グレタ・トゥーンベリーさん、アジアで民主化運動を始めた若者たちなど、社会を変えようとしている若者たちについて感じることは？ など

●登壇予定者

戦争体験者（1945年の年齢）に手紙を書いた若者たち

- ・関口純平さん・・・27歳、東京都出身、会社員、群馬県在住／戦場、シベリア、戦犯管理所で十六年を過ごした金子安次さん（1945年当時25歳）に手紙を書いた
- ・杉村元さん・・・・18歳、千葉県出身、隠岐島前高校へ島留学、高2の夏にクラウドファンディングでデンマーク教育視察ツアーに参加、インドネシア留学より帰国、千葉市在住／中国で戦闘部隊に従軍した品川正治さん（1945年当時21歳）に手紙を書いた
- ・瀧元深祈さん・・・・27歳、静岡県出身、ベルリン自由大学大学院生、Public history 専攻、ベルリン在住／戦場、シベリア、戦犯管理所で十六年を過ごした金子安次さん（1945年当時25歳）に手紙を書いた
- ・元山仁士郎さん・・・28歳、沖縄県出身、一橋大学大学院生、「辺野古」県民投票の会代表、東京都在住

『若者から若者への手紙 1945←2015』著者

- ・落合由利子（写真家、『絹ばあちゃんと90年の旅—幻の旧満州に生きて』著者）
- ・室田元美（ルポ・ライター、『ルポ土地の記憶 戦争の傷痕は語り続ける』著者）
- ・北川直実（編集者、『忘却に抵抗するドイツ』『「ホロコーストの記憶」を歩く』企画編集）

●主催「若者から若者への手紙 1945←2020」プロジェクト

●協力 ピースフェア 2020 in 千葉

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~sensotaiken/peacefair2020.html>

ころから

<http://korocolor.com/book/letter1945.html>

\*オンライン・シンポジウムはどなたでもご視聴いただけます。

多くの方々のご参加をお待ちしています。